

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あした			
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 28日		～	令和 8年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 12日		～	令和 8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・協会には様々な事業所があり、様々な方と触れ合えたり、B型事業所での就労の体験が出来ます。	・様々な方とより多く触れ合うことにより挨拶の大切さ、実作業を通して相談、報告の練習を行うことが出来ます。	・職場体験では、様々な方と触れ合うこと以外に多種の作業を通して数えたり集中する機会が増えることに取り組んでいます。簡単な作業を通して達成感や仲間と協力してやり抜くことに取り組んでいます。
2	・様々な行事を工夫しています。	・外部から講師や専門職の人を招き児童の社会経験を豊富にする取り組みを行っています。 ・協会内の他事業所とのふれあい活動も行っています。利用している保護者の協力も得ながらデイの様子もオープンにしています。 ・今年度は協会が主催する「まつり」を開催しました。	・児童部会を通じて外部の他事業所と交流活動を行う予定です。 ・休業日に保護者の方に工作の講師として携わって頂いている。 ・今年度は協会が主催する「まつり」を開催しました。 「地域との共生」(地域貢献)をテーマに行っていますがバザーや体験等、本人たちが参加できる機会を設けたいと思います。
3	・漢字検定の開催をしています。	・社会的に評価の残る学習を考えながら支援しています。 まずは基礎から勉強を行い(ひらがな・カタカナ)そのうえで1年生の漢字から読み書きをしながら受験にチャレンジ出来るところまで支援しています。 分かりやすい資料などを提供しながら集中力の育成のため制限時間を決める事により、総合的な学力の向上を支援しています。	・児童部会等の利用者でチャレンジしたい方を募集するなど、より多くの児童たちに漢字の基礎をサポート出来る事を行っていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ないこと。	・児童部会や遊放会で交流の計画はあった。 機会があったが都合が合わなかったり感染症等により中止さざるを得なかった。 ・低学年が対象となっている行事なので、高学年の行事がなかったため。	・今後も計画を立て無理なく実践していきたい。 ・高学年対象の交流を考察する必要があります。
2	・父母の会の活動支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会がないこと。	・保護者からの相談(家庭や学校等での困り感)に応じ、問題解決や改善策に積極的に取り組んでいる。	・父母の会やきょうだい、地域の人が参加したいと思えるイベントの企画を立てていく。
3	・専門職による支援	・作業療法士・言語聴覚士・心理的支援など専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保できていない。	・必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者が研修を重ね専門性につながる支援に取り組んでいく。 ・強度行動障害の資格を取得しました。ひとりひとりの個性に対応していきたいと思っています。